

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社イー・ロジット 上場取引所 東
 コード番号 9327 URL <https://www.e-logit.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 角井 亮一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO兼経営管理部長 (氏名) 堀池 康夫 (TEL) 03-3253-1600
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績 (2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,818	8.2	△82	—	△75	—	△117	—
2022年3月期第3四半期	9,078	13.9	△63	—	△57	—	△142	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期第3四半期	△33.65		—					
2022年3月期第3四半期	△41.06		—					

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,824	1,663	28.5
2022年3月期	5,239	1,767	33.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 1,657百万円 2022年3月期 1,767百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2023年2月14日)公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,854	5.3	△349	—	△344	—	△577	—	△165.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2023年2月14日)公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細については、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期3Q	3,500,000株	2022年3月期	3,481,800株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	—株	2022年3月期	—株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期3Q	3,496,554株	2022年3月期3Q	3,458,650株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、本日(2023年2月14日)TDnet及び当社IRサイトで開示いたします。

当社IRサイト <https://www.e-logit.com/ir/>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)におけるわが国の経済は、ウィズコロナ下の生活様式が浸透するなか、経済活動の再開を背景に持ち直しつつあるものの、新型コロナウイルス第8波による感染再拡大や、ウクライナ情勢に起因した世界的な原材料費の高騰、急激な円安による輸入価格の高騰、海外景気の減速など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社においては、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながら、経営ビジョンである『変化を先取りし、人々の感動体験を進化させ続ける』に基づき、消費者行動の変化やテクノロジーの変化を先取りし、多様なお客様のニーズに寄り添ったサービスの提供に取り組んでおります。

当社は、物流業務をアウトソーシングされるEC通販事業者に対して、商品保管・ピッキング・流通加工・梱包・配送・代金回収等を行う「物流代行サービス」と、EC通販サイトの運営における、ささげ業務(商品の撮影・採寸・原稿)・受注処理・カスタマーサポート等を行う「運営代行サービス」を、EC通販事業者や消費者(購入者)のニーズに対応したワンストップのフルフィルメントサービスとして提供する通販物流事業を運営しております。通販物流事業の拠点として当社が運営するフルフィルメントセンター(以下「FC」という。)は、大阪市内に新たに開設し2022年11月1日から稼働を開始したFCを含め、東京都に2施設、千葉県に1施設、埼玉県に3施設、大阪府に2施設の合計8施設、総延床面積は59,000坪であります。また、物流業務を自社運営される企業向けには、セミナー、教育、業務改善等の物流コンサルティングサービスを提供しております。

当社がサービスを提供するBtoC-EC市場の物販系分野において、2021年の市場規模は2020年の12兆2,333億円から1兆532億円増加し、13兆2,865億円となりました(出典:経済産業省「令和3年度デジタル取引環境整備事業(電子商取引に関する市場調査)」)。オムニチャネルなど小売業における実店舗とECサイトの最適な融合への取組み、メーカーが自社の商材をECサイト上で直接消費者向けに販売するDtoC(Direct to Consumer)の成長、スマートフォンを通じた電子商取引のさらなる増加などにより、物販系BtoC-EC市場は引き続き進展していくものと予想されます。

このような経営環境の中、当第3四半期累計期間における当社の取り組みとしては、引き続き、売上高の高い成長を目指し、営業力の強化による新規顧客獲得・顧客基盤の拡大、生産性向上等によるFC運営の強化、人材育成等に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は、既存顧客の出荷数量の減少と新規顧客獲得の計画未達により、出荷作業料収入が当初の計画を下回り、特に繁忙期である12月において計画を大きく下回ったものの、前年同四半期に比べ739,960千円増収の9,818,390千円(8.2%増)となりました。

利益面におきましては、売上計画の達成を前提としてFC内作業スタッフ等のリソースを確保しておりましたが、売上高が計画を下回ったことにより、人件費のほか水道光熱費の上昇分等を吸収できず、営業損失82,314千円(前年同四半期は営業損失63,799千円)、経常損失75,748千円(前年同四半期は経常損失57,611千円)、四半期純損失117,656千円(前年同四半期は四半期純損失142,015千円)となりました。

なお、当社は通販物流事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績の記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末比584,631千円増の5,824,113千円となりました。

流動資産は現金及び預金が290,042千円、受取手形及び売掛金が55,333千円増加したことなどにより、前事業年度末比357,890千円増の3,877,316千円となりました。固定資産は、差入保証金が217,103千円増加したことなどにより、前事業年度末比226,741千円増の1,946,797千円となりました。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末比688,531千円増の4,160,626千円となりました。

流動負債は1年内返済予定の長期借入金が88,164千円、未払金が47,691千円増加したことなどにより、前事業年度末比211,163千円増の2,973,341千円となりました。固定負債は、長期借入金が351,767千円増加したことなどにより、前事業年度末比477,368千円増の1,187,285千円となりました。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、資本金及び資本剰余金が6,128千円増加する一方、利益剰余金が117,656千円減少したことにより、前事業年度末比103,900千円減の1,663,487千円となりました。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末比5.3ポイント減の28.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想につきましては、第3四半期累計期間までの業績や足もとの動向などを踏まえ、2022年5月13日に公表した内容から修正しております。詳細につきましては、本日(2023年2月14日)公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,070,057	2,360,100
受取手形及び売掛金	1,151,835	1,207,168
原材料及び貯蔵品	24,116	28,967
その他	285,422	290,413
貸倒引当金	△12,004	△9,332
流動資産合計	3,519,426	3,877,316
固定資産		
有形固定資産	379,673	389,563
無形固定資産	15,457	67,156
投資その他の資産		
差入保証金	1,203,309	1,420,412
その他	148,137	77,979
貸倒引当金	△26,521	△8,314
投資その他の資産合計	1,324,925	1,490,077
固定資産合計	1,720,056	1,946,797
資産合計	5,239,482	5,824,113

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	862,557	901,396
1年内返済予定の長期借入金	191,588	279,752
未払金	1,446,670	1,494,361
未払法人税等	19,756	8,400
賞与引当金	70,000	44,072
その他	171,606	245,358
流動負債合計	2,762,178	2,973,341
固定負債		
長期借入金	525,774	877,541
資産除去債務	83,566	97,292
その他	100,576	212,451
固定負債合計	709,916	1,187,285
負債合計	3,472,094	4,160,626
純資産の部		
株主資本		
資本金	522,536	525,600
新株式申込証拠金	543	-
資本剰余金	442,536	445,600
利益剰余金	799,422	681,765
株主資本合計	1,765,038	1,652,967
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,349	4,849
評価・換算差額等合計	2,349	4,849
新株予約権	-	5,670
純資産合計	1,767,388	1,663,487
負債純資産合計	5,239,482	5,824,113

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	9,078,430	9,818,390
売上原価	8,581,174	9,289,140
売上総利益	497,255	529,250
販売費及び一般管理費	561,054	611,564
営業損失(△)	△63,799	△82,314
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	1,943	2,520
受取保険金	-	245
物品売却益	3,863	4,134
投資事業組合運用益	2,014	-
その他	1,970	2,862
営業外収益合計	9,802	9,772
営業外費用		
支払利息	2,950	3,091
その他	663	115
営業外費用合計	3,614	3,207
経常損失(△)	△57,611	△75,748
特別利益		
固定資産売却益	-	9
投資有価証券売却益	2,141	-
特別利益合計	2,141	9
特別損失		
固定資産除売却損	842	1,146
移転費用	-	1,536
特別損失合計	842	2,682
税引前四半期純損失(△)	△56,312	△78,421
法人税、住民税及び事業税	17,760	△13,766
法人税等調整額	67,942	53,001
法人税等合計	85,702	39,235
四半期純損失(△)	△142,015	△117,656

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、「通販物流事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。